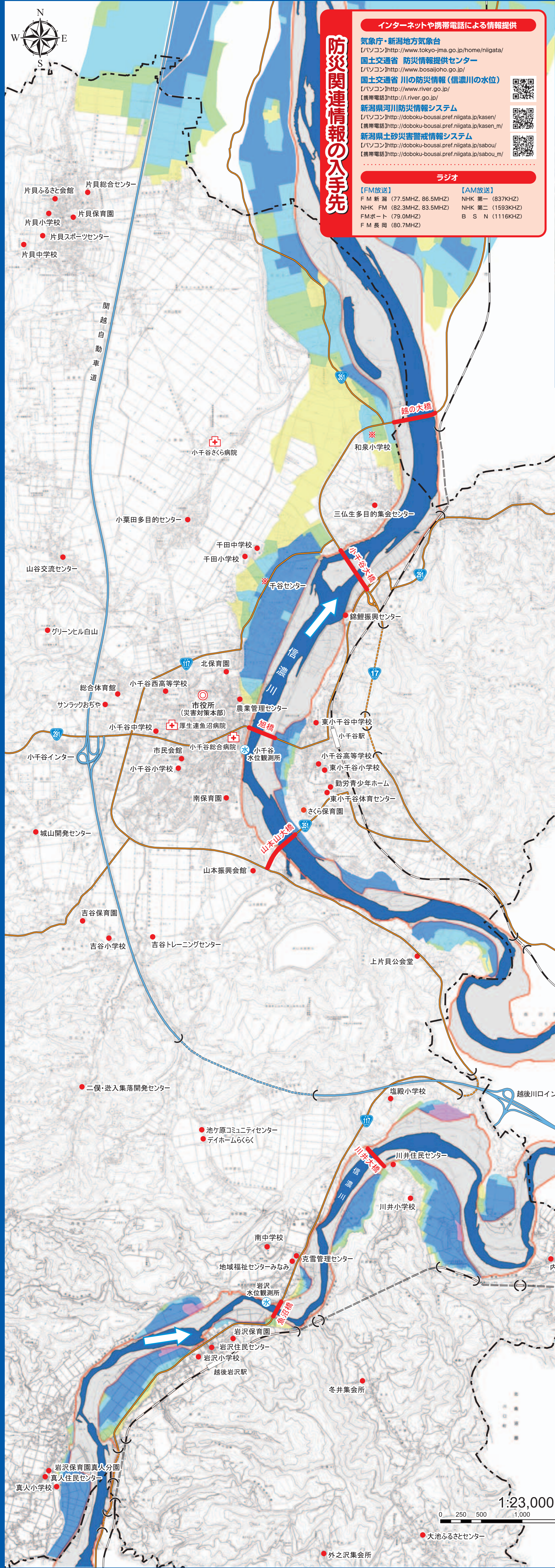


小千谷市洪水避難地図

洪水ハザードマップ 信濃川・北部版



インターネットや携帯電話による情報提供

気象庁・新潟地方気象台
[パソコン]http://www.tokyo-jma.go.jp/home/nigata/
[スマートフォン]http://www.tokyo-jma.go.jp/mobile/nigata/

国土交通省 防災情報提供センター
[パソコン]http://www.bosaiho.go.jp/
[スマートフォン]http://www.bosaiho.go.jp/mobile/

国土交通省 川の防災情報(信濃川の水位)
[パソコン]http://www.river.go.jp/
[スマートフォン]http://www.river.go.jp/mobile/

新潟県河川防災情報システム
[パソコン]http://doboku-bousai.pref.nigata.jp/kasen/
[スマートフォン]http://doboku-bousai.pref.nigata.jp/kasen_m/

新潟県土砂災害警戒情報システム
[パソコン]http://doboku-bousai.pref.nigata.jp/sabou/
[スマートフォン]http://doboku-bousai.pref.nigata.jp/sabou_m/

ラジオ

[FM放送]
F M 新潟 (77.5MHz, 86.5MHz)
NHK FM (82.3MHz, 83.5MHz)
FMポート (79.0MHz)
F M 長岡 (80.7MHz)

[AM放送]
NHK 第一 (837KHz)
NHK 第二 (1593KHz)
B S N (1116KHz)

大雨による洪水や土砂災害が起こったら!?

この地図は、そのようなときに役立てて頂くための災害情報や避難に関する情報をわかりやすくまとめたものです。

H18年7月 信濃川河川事務所 提供

小千谷市 総務課

〒947-8501 小千谷市内2-7-5
TEL:0258-83-3506 FAX:0258-83-2789
HP: http://www.city.ojya.nigata.jp/
E-mail: soumu@city.ojya.nigata.jp

凡例

- 避難所
- ⊗ 避難所(大雨時に利用できません)
- ⊙ 市役所(災害対策本部)
- ⚡ 病院
- Ⓜ JR
- Ⓜ 関越自動車道
- Ⓜ 国道
- Ⓜ はらん対象河川
- Ⓜ 水位観測所

浸水深の目安

大雨で河川がはらんした時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおよそ次の通りです。

色	浸水深	浸水の目安
赤	5.0m以上	3階までつかの程度
黄	2.0~5.0m	2階の軒下までつかの程度
緑	1.0~2.0m	1階の軒下までつかの程度
青	0.5~1.0m	おとなの腰までつかの程度(床上浸水)
紫	0~0.5m	おとなの腰までつかの程度(床下浸水)

※水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。

災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混みあいます。家族の安否確認にはNTT災害用伝言ダイヤル(171)を利用しましょう。

●NTT災害用伝言ダイヤル(171)
通常の171にダイヤルすると、簡単な方法で伝言の録音や再生ができます。

●災害用伝言板
被災地の携帯電話会社が開設する(災害用伝言板)で、自分の安否情報を登録したり、登録された伝言をインターネットや携帯電話などから確認したりすることができます。

伝言の録音
171→1→0000(00)0000
ガイダンスが流れます
被災地以外の被災者の電話番号
171→2→0000(00)0000
伝言の再生

信濃川水位観測所(元町)

計画高水位 ▼49.93m 堤防高 52.2m

洪水の危険レベル	はんらん危険水位 ▼48.6m	避難判断水位 ▼48.0m	はんらん注意水位 ▼46.5m	水防団待機水位 ▼45.5m
レベル4	洪水により相当の家屋浸水等の被害が生じるはんらんの恐れがある水位	住民の避難判断の参考	住民のはらんに関する情報への注意喚起 水防団の出動の目安	水防団が出動のために待機する水位

ふだんの水位

避難の心得 ~どうやって避難するの?~

- 避難路の確認**
自宅の近くにどんな避難所があるのか確認してください。家族みんなで避難所まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握しておきましょう。
- 災害時避難持ち出し品の準備**
避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、場所を決めて持ち出し袋にまとめておきましょう。また、内容を定期的に確認しておきましょう。
- 自主的な避難準備**
雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ・テレビなどの最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら、自主的に避難準備を始めましょう。
- 避難の呼びかけに注意を**
地区のみなさんに避難が必要と判断したときは、広報車・テレビ・ラジオ等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。
- 浸水したら車での避難は控えましょう!**
車での避難は道路が浸水する前に早めに開始しましょう。道路が浸水すると車のエンジンがとまりやすいため、できる限り歩いて避難しましょう。
- 高齢者や障がい者の方などの避難に協力しましょう!**
避難するときは、隣近所に声をかけて複数で避難しましょう。また、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。
- 靴は運動靴、動きやすい格好で避難しましょう!**
浸水した道路は、マンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。
- 万が一、逃げ遅れたら**
避難できないと感じたら、無理をせずに、自宅の2階や近所の高台へ避難し、救助を待ちましょう。

我が家の防災メモ
いざというときのために書いておきましょう

我が家の避難所
家族の集合場所
災害時の緊急連絡先

名前	生年月日	血液型	職場/学校	携帯電話
	月 日 年	型	TEL	TEL
	月 日 年	型	TEL	TEL
	月 日 年	型	TEL	TEL
	月 日 年	型	TEL	TEL
	月 日 年	型	TEL	TEL
	月 日 年	型	TEL	TEL

防災グッズチェックシート

チェックした日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
懐中電灯・乾電池									
携帯ラジオ									
飲料水									
非常食									
タオル									
衣料									
マッチ・ライター・燃料									
ロープ									
貴重品									
救急セット									

その他必要に応じて準備しておきましょう
ちり紙、ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、毛布、ヘルメット、携帯ナイフ、ドライシャンプー、軍手、携帯鏡、石けん、使い捨て食器、携帯食、レジャーシート、携帯電話の充電器...など